

## エクアドルにおける権益取得について

平成 17 年 1 月 25 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社 東京都渋谷区、社長 磯野 啓）は、本日、100%子会社の Teikoku Oil Ecuador（ケイマン法人）を通じて、Petrobras Energia S.A.（PESA：本社 ブエノスアイレス）の子会社 2 社から南米エクアドル東部オリエンテ地方に位置するブロック 18 鉱区及びブロック 31 鉱区において各々 40%の権益を取得する契約に調印いたしました。

なお、当該契約は同国関係当局の承認を得た後、正式に発効する予定であります。

ブロック 18 鉱区では、現在日量 20,000 バレルの原油を生産中であり、今後の追加開発作業によりピーク時 2009 年には日量約 50,000 バレルへの増産を見込んでおります。

また、ブロック 31 鉱区においては 4 つの既発見未開発油田があり、本年度中に開発作業に着手し 2006 年からの日量 30,000 バレルの原油生産開始を予定しております。既発見構造の開発及び有望構造に対する探鉱活動により、更なる増産の可能性がります。

PESA は南米を代表する Petrobras グループ傘下にあり、同グループと当社は既にベネズエラの San Carlos 鉱区及び Tinaco 鉱区におけるガス探鉱事業、メキシコの Cuervito 鉱区及び Fronterizo 鉱区におけるガス開発事業を共同で実施しています。従って、本プロジェクトは同グループとの 3 つめの共同事業となり、両社の協力関係が更に強化されることを期待しています。

本プロジェクトは、当社海外事業の重点地域のひとつである中南米に位置し、期待される埋蔵量が大いことから、同エリアの中心的なプロジェクトになるものと考えております。当社は既にベネズエラ及びメキシコにおいて、本格的な原油・ガスの生産操業を行っておりますが、本プロジェクトへの参入を契機に中南米地域における当社プレゼンスがさらに高まり、同地域での新規プロジェクトの発掘や既存事業の拡大にも繋がる可能性があることから、当社の海外事業展開において重要な役割を果たす案件と位置づけております。

以上

【両鉱区の概要】

名称	ブロック18鉱区	ブロック31鉱区		
鉱区面積	1,138 km <sup>2</sup>	2,000km <sup>2</sup>		
対象層深度	約3,000m	約2,000m		
権益比率	Teikoku Oil Ecuador	40%	Teikoku Oil Ecuador	40%
	ECUADORTLC S.A.	30%	Petrobras Energia Ecuador	60%
	Cayman International Exploration Company S.A.	18%		
	Petromanabi	12%		

【Teikoku Oil Ecuador (ケイマン法人) の概要】

代表者	磯野 啓
設立年月日	平成17年1月11日
主な事業内容	エクアドルにおける石油探鉱・開発事業
決算期	12月
資本金	10,000米ドル
発行済株式総数	10,000株
資本構成	帝国石油(株):100%

【両鉱区位置図】

